

よいこのもり保育園 第三者評価調査報告書 【共通評価基準】

I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
1	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 理念、基本方針が文書(事業計画等の法人(保育所)内の文書や広報誌、パンフレット、ホームページ等)に記載されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 理念は、法人(保育所)が実施する保育の内容や特性を踏まえた法人(保育所)の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。
	園のしおり・ホームページに子どもの最善の利益を基本にして理念・基本方針を明文化し、保育のテーマとして「ワクワクする心自分らしく生きる力」を掲げて公表している。入園希望の保護者来訪時には必ず上記の説明をし、入園時には園のしおりを渡して説明することは勿論のこと、年1回以上は説明することとしている。コロナ禍があった影響で保護者向けの対応が少なくなっていたことに全職員で今年度からベースを上げて行くことを共有している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、保護者等への周知が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 理念や基本方針を保護者会等で資料をもとに説明している。(保育所)

I-2 経営状況の把握

I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
2	① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。
	常に子ども達のニーズや動向は積極的に把握し分析までは出来ているが、総ての課題解決には、現在の職員の配置基準では難しいことが多い。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもの数・利用者(子ども・保護者)像等、保育のニーズ、潜在的利用者に関するデータを収集するなど、法人(保育所)が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 定期的に保育のコスト分析や保育所利用者の推移、利用率等の分析を行っている。
3	② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 経営環境や保育の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。
	現状分析による経営課題については、確実に把握できており、職員への周知も施設長は毎月行っており、共有しつつ前進している。		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 経営状況や改善すべき課題について、役員(理事・監事等)間での共有がなされている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。

I-3 事業計画の策定

I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
4	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。
	保育のテーマを実現する長期ビジョンをベースに今年度の事業計画を策定し、PDCAを行い前進している。見直しをする中で、施設の老朽化等現状では財政的・人材的に総て解決出来ない課題も出て来ている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。
5	中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 単年度の計画には、中・長期計画の内容を反映した単年度における事業内容が具体的に示されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 単年度の事業計画は、実行可能な具体的な内容となっている。
	単年度計画策定については、内容を具体化させて進めており評価、改善をリーダー会議等で実施している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
6	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順のもとについて把握されている。
	職員参加の会議で事業計画策定を行っている。見直しについても、適宜実施している。職員会議も利用して、施設長は適宜指示を出したり、理解を得る説明も行い最善を尽くしている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順のもとについて評価されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 評価の結果のもとについて事業計画の見直しを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 事業計画が、職員に周知(会議や研修会における説明等)がされており、理解を促すための取組を行っている。

7	② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	事業計画の主な内容が、保護者等に周知(配布、掲示、説明等)されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	事業計画の主な内容を保護者会等で説明している。
	コロナ禍がまだ残る中で、保護者に向けた説明会は実施不可能で、適宜文書説明を行うことで留めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、保護者等がより理解しやすいような工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	事業計画については、保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		第三者評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>		評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
8	① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	組織的にPDCAサイクルにもとづく保育の質の向上に関する取組を実施している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育の内容について組織的に評価(C:Check)を行う体制が整備されている。
	日々の保育内容や種々の行事などPDCAを必ず行っているが、そのすべてに評価後の実行まで出来ている状況にはない。第三者評価受審も実施している。ここまで出来ていることを評価したい。配置基準の見直しを強く要望するものである。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的受審している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	評価結果を分析・検討する場が、組織として位置づけられ実行されている。
9	② 評価結果にもとづく保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	職員間で課題の共有化が図られている。
	本園は上記各項目に出ている通り、保育の質向上に熱心に取り組んでいるが、やりたくても出来ない状況が前面に立ちふさがっている。配置基準と人件費の見直しが無い限り、この熱心な対応が生かされない。それでも出来る範囲で現スタンスを維持して欲しい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。

II 組織の運営管理

II-1 管理者の責任とリーダーシップ

II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		第三者評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>		評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
10	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	施設長は、自らの保育所の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	施設長は、自らの役割と責任について、保育所内の広報紙等に掲載し表明している。
	事務分担表に施設長の責任分野を明文化し、有事における施設長の役割と責任については、主任が業務代行をする旨明記し、職員には職員会議で周知・説明を行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	平常時のみならず、有事(災害、事故等)における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。
11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者(取引事業者、行政関係者等)との適正な関係を保持している。
	施設長は遵守すべき法令等は正しく理解し経営に関する研修や勉強会には出来る限り参加し、職員に対しても現場の声を常に聴き、必要な折には職員会議で周知に努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。
II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		第三者評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>		評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
12	① 保育の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	施設長は、保育の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	施設長は、保育の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。
	本園の伝統となる神様を敬い、感謝や仁愛の徳の心を育むという理念をベースに与えられた状況の中で、保育の質向上に向けて、職員全員に向けて常に前進する様、毎月の職員会議で短い重要なメッセージを発している、常に可能な範囲で子ども達の姿を観察し、子どもの最善の利益に向かう保育の質の向上に活かそうと努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	施設長は、保育の質の向上について組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	施設長は、保育の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	施設長は、保育の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。
13	② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	施設長は、組織の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。
	事務分担表を作成し各自の担当分野を明確にしつつ、その最高責任は施設長にあることから、常に何かあれば寄り添う形でリーダーシップを発揮している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、組織内に同様の意識を形成するための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。

II-2 福祉人材の確保・育成

II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>		事務分掌表に明記しそれぞれの役割に責任をもって実施してくれるよう配慮しつつ総ての項目の責任者となっているので
14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育の提供に関わる専門職の配置、活用等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。
	少子化傾向が強くなる一方で、優秀な保育人材獲得は非常に難しく困難な中で、たまたま縁あって本園卒業者の中から2名本園に就職希望で雇用することが出来た。準備・計画を立て実行しているが厳しい状況にある。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	法人(保育所)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。
15	② 総合的な人事管理が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	法人(保育所)の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。
	就業規則を中心に人事基準、職員処遇について、施設長、主任と面談で確定した目標計画の評価結果が、次年度の職員の処遇に連動することとなっている。職員の持つ能力を如何に繰り出してくるかが問われている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。
	本園の基本となる子どもの人権尊重と子ども・保護者との信頼関係をコミュニケーションの頻度を高めて確立することがベースとなっている。本園の運営としても上記のような明確な目標確立を基本として成り立っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	職員が、自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりができています。
に		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>		評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	職員の就業状況や意向の把握等にもとづく労務管理に関する責任体制を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。
	職員にベテランが多く、ヒヤリングでは休暇や人事配置については職員個々との面談などで就業状況の希望や取り組みについての情報が把握され、対応されていることを確認した。1クラス4人の職員が常勤出来るシフト制が組まれているが、育休や体調状況によっては職員への適切な就業対応を園側が行っており、ワークライフ・バランスを組み立て、仕事への取組意欲を維持するための配慮がなされている。チームリーダー中心にカバーする実態も併存する部分があり、今後の課題解決に取り組んでゆこうとしている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の悩み相談窓口を組織内に設置するなど、職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	ワークライフ・バランスに配慮した取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	改善策については、福祉人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク	福祉人材の確保、定着の観点から、組織の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>		評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	組織として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	個別面接を行う等保育所の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標が設定されている。
	年度初め(4~5月)評価基準に基づいた職員評価基準制度で、各自目標を設定し、施設長・主任との面談で目標を設定している。9~10月には、取り組み過程の確認、成果を検証し、年度末に面談し、次年度に繋げるよう情報を上記3名で共有し、育成に努めている。上記3回の面談では、職員の意見や希望を聞き、配置や昇進等の評価をしている。階層別研修の内容が組み込まれている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	職員一人ひとりの目標の設定は、目標項目、目標水準、目標期限が明確にされた適切なものとなっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。
18	② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	保育所が目指す保育を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	現在実施している保育の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、保育所が職員に必要なとされる専門技術や専門資格を明示している。
	目標設定時に施設長・主任の面談で職員一人ひとりの最善の目標計画でスタートし子どもの最善の利益と保護者との信頼関係増進をベースに見直しの中間面談、年度末の評価後年度用の課題を得られる面談が中核をなしている。子どもの人権に関する研修は、最優先して進めているが、個人の希望も面談時に聴取している。非常勤職員についても同じ対応である。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	定期的に計画の評価と見直しを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。
19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。
	年間3回の施設長・主任との面談で、自己の目標設定から中間の見直し、年度末の最終評価、次年度につながる面談が柱として動いている。子どもの人権尊重に関しては優先的に研修機会を与えられている。本園の各クラスリーダーは40年近くに経験を持ち、本園の基本としている「子どもと保護者とのコミュニケーションを大切にし信頼関係を早く結ぶ」が、毎日の研修機会を与えられている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を奨励している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。

II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
20	① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢を明文化している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成についてのマニュアルが整備されている。
	京都・滋賀の地元大学生を中心に積極的に実習参加を受け入れている。実習生受け入れマニュアルでは、保育実習の注意点、1日のタイムスケジュールの確認事項を明記し、2回生については、部分実習・責任実習を行っている。実習終了後に反省会を実施し、実習参加者には実習ノートの提出を求める行程が組まれている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 指導者に対する研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。

II-3 運営の透明性の確保

II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア ホームページ等の活用により、法人、保育所の理念や基本方針、保育の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 保育所における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公表している。
	理念や基本方針、保育の内容、事業計画、年間行事についてはHPで分かり易く説明し公開している。今回縁あって第三者評価調査を受審され、勿論その結果は滋賀県庁のHPに公表することになっている。子育て支援ではひよっこひろばを子育てハンドブック大津っ子の冊子に提示している。		<input type="checkbox"/>	ウ 第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公表している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 法人(保育所)の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人(保育所)の存在意義や役割を明確にするように努めている。
			<input type="checkbox"/>	オ 地域へ向けて、理念や基本方針、事業所で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。
22	② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所における事務、経理、取引等に関するルールが明確にされ、職員等に周知している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所における事務、経理、取引等に関する職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。
	園全体の経営・運営は、職務分担表を作成して職員相互がそれぞれの職務の権限・責任を明示し周知している。また、事務・経理・取引等は内部監査、事業・財務に関しては外部監査の支援を受け改善に努めている。さらに、保護者などからの苦情(要望)には第三者委員会を設けて、苦情受付から解決までの仕組みを文書化し明確に示している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保育所における事務、経理、取引等について、必要に応じて外部の専門家に相談し、助言を得ている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育所における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 外部監査の活用等により、事業、財務に関する外部の専門家によるチェックを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 外部監査の結果や公認会計士等による指導や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。

II-4 地域との交流、地域貢献

II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
23	① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b	<input type="checkbox"/>	ア 地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 活用できる社会資源や地域の情報を収集し、掲示板の利用等で保護者に提供している。
	コロナ禍の為、地域との交流を広げる訳にはいかなかった。只継続している芋植えに関しては、唯一子ども達の楽しみ行事で土地提供者や関係のボランティアと今年度も実施出来た。ただボランティア団体も会員の高齢化で運営が難しくなってきた。何とかこの事業を継続するために、新しいボランティア団体の参加が実現する様、ネットワークを利用して継続できるよう頑張っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子ども個々の状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。
			<input type="checkbox"/>	エ 保育所や子どもへの理解を得るために、地域の人々と子どもとの交流の機会を定期的に設けるなどの取組を行っている。
			<input type="checkbox"/>	オ 個々の子ども・保護者のニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。
24	② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	c	<input type="checkbox"/>	ア ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化している。
	子どもたちの食育計画を目的とした芋の食物栽培の耕作地を提供いただいている農家とボランティア団体とは永年積極的な交流や受け入れを行っている。コロナ禍前の状態に戻る様、各種ボランティア団体も活動しようとしている段階にきているので、新しい分野の交流を求める活動を開始することを期待したい。まずボランティアマニュアル作成が望まれる。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している。
			<input type="checkbox"/>	エ ボランティアに対して子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 学校教育への協力を行っている。
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
25	① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 当該地域の関係機関・団体について、個々の子ども・保護者の状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。
	課題あるごとに地域の関連機関や団体に協力支援をお願いする事を職員会議で検討し、職員間で共有し、関係諸機関と連携し改善・解決に努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。
			<input type="checkbox"/>	オ 地域に適切な関係機関・団体がいない場合には、子ども・保護者のアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 家庭での虐待等権利侵害が疑われる子どもへの対応について、要保護児童対策地域協議会への参画、児童相談所など関係機関との連携が図られている。(保育所)

II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
26	① 保育所が有する機能を地域に還元している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所のスペースを活用して地域の保護者や子ども等との交流を意図した取組を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所の専門性や特性を活かし、地域の保護者や子ども等の生活に役立つ講演会や研修会等を開催して、地域へ参加を呼びかけている。
ひよっこひろば(毎月1回第3水曜日)未就園児と保護者に広い園庭で10:00~11:00遊んでもらっている。その保護者からその子の育てに関する相談や悩みなどを聞き取り、出来るだけの支援をしている。			<input type="checkbox"/>	ウ 保育所の専門性や特性を活かした相談支援事業、子育て支援サークルへの支援等、地域ニーズに応じ地域の保護者や子ども等が自由に参加できる多様な支援活動を行っている。
			<input type="checkbox"/>	エ 災害時の地域における役割等について確認がなされている。
			<input type="checkbox"/>	オ 多様な機関等と連携して、社会福祉分野に限らず地域の活性化やまちづくりに貢献している。
27	② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所の機能を地域に還元することなどを通じて、地域の福祉ニーズの把握に努めている。
判断した理由・特記事項等			<input type="checkbox"/>	イ 民生委員・児童委員等と定期的な会議を開催するなどによって、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。
地域の子育て支援として、個別相談会とは別に当園では未就園児童交流会も月1回(ひよっこひろば)の頻度で実施したり、実習生・職場体験・ボランティア等の受け入れを積極的に行うように努めている。コロナ禍の長い影響で、ボランティア団体も難しい運営から弱体化してきており、施設側から声がけすることは至難となってきたが、関係者がいろいろな手法で探すことから見つかれば、保育園も助かりまた地域に貢献することも生まれるので厳しい中ではあるが前進してほしい。子ども達の笑顔が増える事を期待したい。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 地域住民に対する相談事業を実施するなどを通じて、多様な相談に応じる機能を有している。
			<input type="checkbox"/>	エ 関係機関・団体との連携にもとづき、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。
			<input type="checkbox"/>	オ 把握した福祉ニーズにもとづいて、法で定められた社会福祉事業(ことまかない)地域貢献に関わる事業・活動を実施している。
			<input type="checkbox"/>	カ 把握した福祉ニーズにもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。

III 適切な福祉サービスの実施

III-1 利用者本位の福祉サービス

III-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
28	① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 理念や基本方針に、子どもを尊重した保育の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input type="checkbox"/>	イ 子どもを尊重した保育の提供に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。
職員会議の前の0:30~1:00間内で人権研修を年2~3回行っている。「子ども一人ひとりの尊重」を大切にする為にこの人権研修をえて職員会議の前に行っている。課題、問題が出た場合は早急に話し合う場を設け対応している。本園の基本ベースで、職員が意識して子どもや保護者に接すること・コミュニケーションを大切にしている。職員一人ひとりの意識を高めていくために、毎月第三土曜日大津市主催の研修会には最低2人必ず参加している。子どもを尊重した保育の提供に関する「倫理綱領」や規定など職員が常に簡単に読めるようなメモの策定を望みたい。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもを尊重した保育に関する基本姿勢が、保育の標準的な実施方法等に反映されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 子どもを尊重や基本的な人権への配慮について、組織で勉強会・研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 子どもを尊重や基本的な人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 子どもが互いを尊重する心を育てるための具体的な取組を行っている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 性差への先入観による固定的な対応をしないように配慮している。(保育所)
			<input type="checkbox"/>	ク 子どもの人権、文化の違い、互いに尊重する心について、その方針等を保護者に示すとともに、保護者も理解を図る取組を行っている。(保育所)
29	子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 子どものプライバシー保護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子ども虐待防止等の権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。
子どものプライバシー保護や権利擁護に関するマニュアルを整備し、それに基づいた保育につとめている。排泄、着替え、シャワーなどの生活場面では広くゆっくりとは出来ない中、筆箒を2枚重ねてパーティションにしたり、施設・備品類での配慮もしている。これらの活動について、子どもや保護者に周知するまでには至っていないので、機会を見つけて周知して行って欲しい。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どものプライバシー保護と虐待防止に関する知識、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務、利用者のプライバシー保護や権利擁護に関する規程・マニュアル等について、職員に研修を実施している。
			<input type="checkbox"/>	エ 一人ひとりの子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、子どものプライバシーを守るよう設備等の工夫を行っている。
			<input type="checkbox"/>	オ 子ども・保護者にプライバシー保護と権利擁護に関する取組を周知している。
			<input type="checkbox"/>	カ 規程・マニュアル等にもとづいた保育が実施されている。
			<input type="checkbox"/>	キ 不適切な事案が発生した場合の対応方法等が明示されている。
III-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
30	① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 理念や基本方針、保育の内容や保育所の特性等を紹介した資料を、公共施設等の多くの人が入手できる場所に置いている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容になっている。
情報は、毎年見直し改善をしている。見学や利用希望者の対応は、主任・副主任が担当している。園のしおりには、わかりやすく、個人情報の取り扱いや・苦情処理等細かな情報の説明も織り込み保護者との信頼関係を大切にしている内容になっている。当保育園を卒園した保育者も2名勤務している。入園のきっかけも祖父や祖母の勧めで入園するケースも多く地域に信頼された保育園と言える。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保育所の利用希望者については、個別に丁寧な説明を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 見学等の希望に対応している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 利用希望者に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。

31	② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	保育の開始及び保育内容の変更時の説明と同意にあたっては、保護者等の意向に配慮している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育の開始・変更時には、保護者等がわかりやすいように工夫した資料を用いて説明している。
	台風や感染症時などの緊急性の時は、メール配信をして対応している。新年度のスタート時には、全園児の保護者にテストメールで配信を確認している。未読の保護者には、直接電話等で連絡をしっかりと伝えている。特に配慮が必要な保護者には、担任がきちんと連絡、対応する体制ができています。今後、アプリの導入も検討している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	説明にあたっては、保護者等が理解しやすいような工夫や配慮を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育の開始・変更時には、保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。
			<input type="checkbox"/>	オ	特に配慮が必要な保護者への説明についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。
32	③ 保育所等の変更や家庭への移行等にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	保育所等の変更にあたり、保育の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育所の利用が終了した後も、保育所として子どもや保護者等が相談できるように担当者や窓口を設置している。
	移行は年間4・5人発生するが、保護者へはきちんと対応している。殆どが保護者の県外転勤に伴う移行である。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保育所の利用が終了した時に、子どもや保護者等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		第三者評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>		評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
33	① 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	日々の保育のなかで、子どもの満足を把握するように努めている。(保育所)
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保護者に対し、利用者満足に関する調査が定期的に行われている。(保育所)
	個別懇談会や保育参観等利用者の意見や要求を自由に表現する方法、場を設け把握に努めている。必要に応じ善処している。作品展等の後アンケートを実施し保護者の声を聞く機会を設定している。絶えず振り返りを行い、次へと繋いでいる。どのクラスも連絡ノートのやり取りは、常に大切にしている。		<input type="checkbox"/>	ウ	保護者への個別の相談面接や聴取、保護者懇談会が、利用者満足を把握する目的で定期的に行われている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	職員等が、利用者満足を把握する目的で、保護者会等に出席している。(保育所)
			<input type="checkbox"/>	オ	利用者満足に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、検討会議の設置等が行われている。(保育所)
			<input type="checkbox"/>	カ	分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。(保育所)
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		第三者評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>		評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
34	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を保護者等に配布し説明している。
	保護者へ仕組みを周知させている。苦情も含め、気軽に相談したり、意見が言える雰囲気づくりに努めている。玄関には、『苦情相談お受けします』『ご意見・ご要望解決のための仕組み』の二つのポスターを掲示し、わかりやすく解説してある。意見や要望は、連絡ノートに記入するケースもあり、担任が主任や園長に報告する体制作りができています。必要時には、保護者と担任や主任が面談し、より良い方向になるよう努めている。		<input type="checkbox"/>	ウ	苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	苦情内容については、受付と解決を図った記録が適切に保管している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	苦情内容に関する検討内容や対応策については、保護者等に必ずフィードバックしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	苦情内容及び解決結果等は、苦情を申し出た保護者等に配慮したうえで、公表している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	苦情相談内容にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。
35	② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	保護者が相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保護者等に、その文章の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。
	「園のしおり」で利用者と保育園とのコミュニケーションの活性化を目指して説明し、実行に努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	相談しやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。
36	③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。
	出来る限り早急に対応し、誠意を持って保護者の納得が得られるまで対応している。意見箱の設置はないが、何時でも言える環境を作り、相談会など適宜行っている。保護者との面談には、個室を確保し安心して相談できる環境を提供している。言えない保護者への配慮も必要であり、毎日のコミュニケーションから信頼関係を築くようにしている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	職員は、日々の保育の提供において、保護者が相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	意見箱の設置、アンケートの実施等、保護者の意見を積極的に把握する取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	意見等にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		第三者評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>		評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
37	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	リスクマネジメントに関する責任者の明確化(リスクマネージャーの選任・配置)、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。
	責任者が施設長のリスクマネジメント委員会は、主任及び各リーダーで構成している。災害対策計画及び非常災害対策計画を作成している。事故発生時の対応マニュアルを策定し、職員に周知している。事例収集を実施し、本年度では現在までで7件ヒヤリハットの収集は、本年度分として各クラス合計で60件を超えているが、各クラス止まりになっている。委員会が開催され、是非貴重なデータを活かすべく、委員会活動を立ちあげて頂きたい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。
			<input type="checkbox"/>	エ	収集した事例をもとに、職員参画の下で発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。
			<input type="checkbox"/>	オ	職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。
			<input type="checkbox"/>	カ	事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。

38	感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	b	ア	感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。	
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し、職員に周知徹底している。
	保健便りを発行し、インフルエンザ・コロナについて感染と発生対応マニュアルを作成し、感染対策委員会を設置し職員に周知徹底を図っている。定期的に見直し、保護者にも情報提供を適切に行っている。調査日は、給食時に体調不良の子どもがいたが、体温測定等で確認し、速やかな対応を行った。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	感染症の予防策が適切に講じられている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	感染症の発生した場合には対応が適切に行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を定期的に見直している。
					キ
39	③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	災害時の対応体制が決まられている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	立地条件等から災害の影響を把握し、建物・設備類、保育を継続するために必要な対策を講じている。
	避難訓練計画書により、避難訓練を月1回行い、子どもたちの避難の状況・場所についても確認している。2月の防災訓練では、地域の消防署・自治会役員からの協力を得て参加してもらい、実施している。水・食料品の備蓄は、一部は園で保管し、他は緊急避難場所である近江神宮の勸学館で保管している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子ども、保護者及び職員の安否確認の方法が決まられ、すべての職員に周知されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	防災計画等整備し、地元の行政をはじめ、消防署、警察、自治会、福祉関係団体等と連携するなど、体制をもって訓練を実施している。

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		第三者評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
40	① 保育について標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	標準的な実施方法が適切に文書化されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	標準的な実施方法には、子どもの尊重、プライバシーの保護や権利擁護に関わる姿勢が明示されている。
	毎年度、施設長の指針のもとに①教育・保育に関する全体計画と②養護に関するねらいと内容が立案されている。①では、保育理念・方針・目標の内容が盛り込まれ、目標については年齢別に具体的な項目があげられている。②では、生命の保持・教育の分野として3つの年齢区分で具体的な狙いを示し、保育の質向上に向けた取り組みを文書化している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。
				<input checked="" type="checkbox"/>	オ
41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	保育の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が組織で定められている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的に行われている。
	保育の見直しは、定期的に行われる園内研修部会で行われている。保育の指導計画、経過観察の記録をクラス別に日案・週案・月案としてまとめ、研修部会のチェックを得て、職員の保育の質向上に向けた情報共有を図っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	検証・見直しにあたり、指導計画の内容が必要に応じて反映されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	検証・見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		第三者評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
42	① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	指導計画策定の責任者を設置している。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ	アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。
	施設長の指導の下、全体的な計画に基づき各年齢ごとに全員に児童票を、指導計画は4歳児～5歳児はクラス毎に、3歳児以下と気掛かりな子どもには全員に個別指導計画を策定している。なかでも「児童票」は、生活の記録、発育・発達記録等きめ細かな個人情報を記録しているため極めて重要な書類となっている。配慮を要する子どもについては保護者の思いや意見を大切にしながら、日々の園生活でクラスの友だちと仲良くなるのびのび楽しく過ごせるよう配慮している。		<input type="checkbox"/>	ウ	さまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	全体的な計画にもとづき、指導計画が策定されている。(保育所)
			<input type="checkbox"/>	オ	子どもと保護者等の具体的なニーズ等が、個別の指導計画等に明示されている。(保育所)
			<input type="checkbox"/>	カ	計画の策定にあたり、さまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加しての合議、保護者の意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	指導計画にもとづく保育実践について、振り返りや評価を行う仕組みが構築され、機能している。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク	支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な保育の提供が行われている。(保育所)
43	② 定期的な指導計画の評価・見直しを行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	指導計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、保護者の意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	見直しによって変更した指導計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。
	施設での実力をフルに活用しているが、現職員の全能力を上げていく中で、総ての課題の評価・見直しができるようになるのは難しい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	指導計画を緊急に変更する仕組みを整備している。
			<input type="checkbox"/>	エ	指導計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、子ども・保護者のニーズ等に対する保育・支援が十分でない状況等、保育の質の向上に関する課題等が明確にされている。

		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>		評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
44	① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子どもの発達状況や生活状況等を、保育所が定めた統一した様式によって把握し記録している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	個別の指導計画等にもとづく保育が実施されていることを記録により確認することができる。
	発達状況、生活状況は、個別指導計画書、月・週・日の計画書に記録し、重要な情報でもあるので確実な保管と必要時には素早く引き出せるよう保管している。 これらの記録は定期的な会議で検討され情報共有され、必要な場合には保護者にも報告している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。
			<input type="checkbox"/>	エ	保育所における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	情報共有を目的とした会議の定期的な開催等の取組がなされている。
45	子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	個人情報保護規程等により、子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。
	文書管理規定を作成し、個人情報保護規定に基づき、まず個人情報の纏めとその保管状況を確認している。貴重な個人情報を取り扱うので、会議や研修についても配慮し、適切な対応に努め管理責任者も明確にしている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	記録管理の責任者が設置されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	個人情報の取扱いについて、保護者等に説明している。

よいこのもり保育園 調査結果報告書

【内容評価基準】

A-1 保育内容

A-1-(1) 保育課程の編成		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
1	① 心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を編成している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 全体的な計画は、児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとらえて編成している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 全体的な計画は、保育所の理念、保育の方針や目標に基づいて編成している。
	全体的な計画は前年度と比較し、健康支援、環境・衛生管理、安全対策・事故防止、子育て支援（保護者・地域などへの支援）小学校との連携（アプローチカリキュラム）・特色ある保育という項目が加えられてスタートしている。ただ途中の経過で評価し見直すところまでに至っていない。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 全体的な計画は、子どもの発達過程、子どもと家庭の状況や保育時間、地域の実態などを考慮して編成している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 全体的な計画は、保育に関わる職員が参画して編成している。
			<input type="checkbox"/>	オ 全体的な計画は、定期的に評価を行い、次の編成に生かしている。
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
2	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 室内の温度、湿度、換気、採光、音などの環境は、常に適切な状態に保持している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所内外の設備・用具や寝具の衛生管理に努めている。
	室内温度、湿度、換気、最高温度などは、保育日誌に記入し職員間で共有している。乳児クラスでは、食べる・遊ぶ・寝るの3区画に分割し余裕はない。、洗い場トイレは、道線に配慮している。幼児組については、各クラスとも余裕があまりなく、特にひとりだけでくつろいだり落ち着ける場所を取ることは困難である。そこで食事については、幼児組は大きなホールで食事をする事となり、食事ルームでのいろいろなルールが生まれて楽しい食事をとれるよう配慮されている。手洗いやトイレは、道線に従っているので問題はない。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 家具や遊具の素材・配置等の工夫をしている。
			<input type="checkbox"/>	エ 一人ひとりの子どもが、くつろいだり、落ち着ける場所がある。
			<input type="checkbox"/>	オ 食事や睡眠のための心地よい生活空間が確保されている。
			<input type="checkbox"/>	カ 手洗い場・トイレは、明るく清潔で、子どもが利用しやすい設備を整え、安全への工夫がされている。
3	一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 子どもの発達と発達過程、家庭環境等から生じる一人ひとりの子どもの個人差を十分に把握し、尊重している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもが安心して自分の気持ちを表現できるように配慮し、対応している。
	個々の個別指導計画はきちんと作成している。常に保育者同志が声をかけあって、子どもたちの見守りをしている。0歳児の部屋には、壁に大きなだるまさんの絵がはってあり、みんながだるまさんの絵本のよみかきせも楽しみにしている。気になる子どもについても、保育者は絶えず目配りし、子どもの希望が実現する様支援している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちをくみとろうとしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 子どもの欲求を受けとめ、子どもの気持ちにそって適切に対応している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 子どもに分かりやすい言葉づかいで、おだやかに話している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ せかず言葉や制止させる言葉を不必要に用いないようにしている。
4	③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 一人ひとりの子どもの発達に合わせて、生活に必要な基本的な生活習慣を身につけられるよう配慮している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 基本的な生活習慣の習得にあたっては、子どもが自分でやろうとする気持ちを尊重して援助を行っている。
	出来る限りの環境構成を行い、又、子どもに応じて個別に支援するなどの対応を大切にしている。乳児組は室内の手洗い場や隣接しているトイレ等、保育者の援助や見守りがしやすい環境となっている。どのクラスも、保育者の声がけで、手洗い・うがい・挨拶等落ち着いて、きちんとできる習慣が身につけている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 基本的な生活習慣の習得にあたっては、強制することなく、一人ひとりの子どもの主体性を尊重している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 一人ひとりの子どもの状態に応じて、活動と休息のバランスが保たれるように工夫している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 基本的な生活習慣を身につけることの大切さについて、子どもが理解できるように働きかけている。
5	④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 子どもが自主的・自発的に生活と遊びができる環境を整備している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもが自発性を発揮できるよう援助している。
	どのクラスでも保育者の話を集中して聞いており、落ち着いた雰囲気の中で活動を展開している。出来る限りの環境構成を行い、又、子どもに応じて個別に支援するなどの対応を大切にしている。室内用の玩具は主に扉付きの収納スペースに置いているが、子ども達が自らしたいあそびを選び、自ら出し入れ出来るようになっている。年長クラスでは、学習発表会に向けて、先生と子ども達がセリフの練習を真剣に取り組み、先生の指示にきちんと対応していた。壁には、一人ひとりの今年のおおきな目標が掲示されていた。3歳・4歳・5歳児の『朝の体操教室』では体操着に着替え、体操の先生の指示にきちんと従いマット運動や鉄棒に挑戦していた。雨の日は園庭での体操教室の活動はできないが、晴れた日のマラソンも楽しみの一つになっている。各クラス30分間、楽しみながら子ども達のいきいきとした様子が見れ、先生の丁寧な逆上がりの指導により逆上がりができる子が増えていた。あと少しで自分でできる子ども達は、みんなの声援と大きな拍手で再度挑戦している光景も見られた。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 遊びの中で、進んで身体を動かすことができるよう援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 戸外で遊ぶ時間や環境を確保している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 生活と遊びを通して、友だちなどと人間関係が育まれるよう援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 子どもたちが友だちと協同して活動できるよう援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 社会的ルールや態度を身につけていくよう配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク 身近な自然とふれあうことができるよう工夫している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ケ 地域の人たちに接する機会、社会体験が得られる機会を設けている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	コ 様々な表現活動が自由に体験できるよう工夫している。

6	乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	0歳児が、長時間過ごすことに適した生活と遊び及び環境への工夫がされている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	0歳児が、安心して、保育士等と愛着関係(情緒の安定)が持てるよう配慮している。
	0歳児は、登降園時に連絡帳を受渡し、保護者とのコミュニケーションを取っている。部屋では、体温をチェックして健康状態を確認している。1歳児と一緒にラジカセで、「アンパンマン」「バナナくんたいそう」の曲と一緒に手をたたきながら思いっきり動き回り楽しんでいる。自由時間には自分の好きなおもちゃのアンパンマン・ライオンなど選び名前も覚えられている。保育者が、「お片付けしようか」と声をかけると、しっかりと箱に片づけている。SIDS予防については、顔の向き・顔色等5分毎にチェックし睡眠チェック表に記録している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの表情を大切に、応答的な関わりをしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	0歳児が、興味と関心を持つことができる生活と遊びへの配慮がされている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	0歳児の発達過程に応じて、必要な保育を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	0歳児の生活と遊びに配慮し、家庭との連携を密にしている。
7	3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	一人ひとりの子どもの状況に応じ、子どもが自分でしようとする気持ちを尊重している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	探索活動が十分に行えるような環境を整備している。
	1歳児は、0歳児と一緒に音楽をかけてもらいそれに合わせて歌ったり、踊ったりしている。自由遊びでは、自分の好きな車のおもちゃや人形で思い思いに楽しんでいた。2歳児は、午前のおやつにゆで人参を、自分で食べられる本数を保育者につたえ、残さず食べていた。食べた後の食器のかたづけや手洗い・うがいが自分でできていた。SIDSチェックについては、睡眠時顔の向きや顔色等異常がないか観察し、10分毎にチェックし睡眠チェック表に記録している。登降園時には、出来るだけ保護者とのコミュニケーションを取る様努めている。コロナ禍で避けていたボランティア活動がもう少し回復してきてくれれば、園児たちの喜びが生まれるので期待したい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもが安心して遊びを中心とした自発的な活動ができるよう、保育士等が関わっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子どもの自我の育ちを受け止め、保育士等が適切な関わりをしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保育士等が、友だちとの関わりの中を仲立ちをしている。
			<input type="checkbox"/>	カ	様々な年齢の子どもや、保育士以外の大人との関わりを図っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	一人ひとりの子どもの状況に応じ、家庭と連携した取組や配慮がされている。
8	3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	3歳児の保育に関して、集団の中で安定しながら、遊びを中心とした興味関心のある活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	4歳児の保育に関して、集団の中で自分の力を発揮しながら、友だちとともに楽しみながら遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
	年間指導計画の目標を毎月の計画に組み立てながら、年齢に合わせた遊びや活動に取り組めるように配慮している。日々の積み重ねを大切に、保育を展開している。訪問日の学習発表会のリハールサルでは、合唱・合奏・劇など一生懸命取り組む姿が印象的だった。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	5歳児の保育に関して、集団の中で一人ひとりの子どもの個性が活かされ、友だちと協力して一つのことをやり遂げるといった遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子どもの育ちや取り組んできた協同的な活動等について、保護者や地域・就学前の小学校等に伝える工夫や配慮がされている。
9	障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	<input type="checkbox"/>	ア	建物・設備など、障害に応じた環境整備に配慮している
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	障害のある子どもの状況に配慮した個別の指導計画を作成し、クラス等の指導計画と関連づけている。
	発達支援の必要な、重度認定の子どもには1名の加配保育士をつけて対応している。軽度の子どもに対しては、きめの細かい個別指導計画を策定し複数名担当の加配保育士は、苦しいときもできる範囲で対応に努めている。計画は、1年を前期後期に分けて状態把握(家庭の状況含め)・保育支援の目標・医療機関の受診状況・他機関との連携・福祉制度の利用(療育)でまとめられている。卒園を迎える子どもへの就学支援は、保護者・小学校との連携のもとに園としても子どもに最適な選択が出来るよう出来る限りの情報を保護者に提供し、サポートを行っている。発達相談には、大津市の巡回相談員(家庭巡回含む)・発達検査・保育観察のサポートを得て、子どもが上位の発達段階へ移行出来るような支援体制が取られている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	計画に基づき、子どもの状況と成長に応じた保育を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子ども同士の関わりに配慮し、共に成長できるようにしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	職員は、障害のある子どもの保育について研修等により必要は知識や情報を得ている。
			<input type="checkbox"/>	ク	保育所の保護者に、障害のある子どもの保育に関する適切な情報を伝えるための取組を行っている。
10	長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	1日の生活を見通して、その連続性に配慮し、子ども主体の計画性をもった取組となっている。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ	家庭的でゆったりと過ごすことができる環境を整えている。
	職員の就業シフトに工夫を加えて保育サービスが手薄にならないような対応に努めている。特に、園外交流や行事が重なる時期は子どもたちの安全・安心保育を実現するための職員のシフトの見直しと改善が図られている。クラスの担任保育士は、在園中の子どもたちの様子を保護者と情報共有が密接に出来るようにきめ細かな対話に努めている。長時間保育で17時30分を超えると、合同保育に入り0.1,2歳児と3,4,5歳児の2グループにまとまり、18:30には全体が1クラスに入り、おやつが提供され、楽しんでいる。子どもの当日の状況を保護者に伝えようと努める中で直接保護者と顔を合わせられない場合には、連絡帳に記入して保護者の手に渡るよう職員間の引継ぎを適切に行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの状況に応じて、おだやかに過ごせるよう配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	年齢の異なる子どもと一緒に過ごすことに配慮している
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保育時間の長い子どもに配慮した食事・おやつ等の提供を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	子どもの状況について、保育士間の引継ぎを適切に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	担当の保育士と保護者との連携が十分にとれるように配慮している。
11	小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	計画の中に小学校との連携や就学に関連する事項が記載され、それに基づいた保育が行われている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもが、小学校以降の生活について見通しを持てる機会が設けられている。
	今年度から小学校進学を目標にした「新しいアプローチカリキュラム」を作成し、3月には小学校から出前で先生が保育園に来てくれて授業をしていただく事や、保育園を卒業し小学校に入学した後も担任であった保育士が4~5月に小学校を訪問し小学校生活を意欲的に活動しているかを確認しようとする子どもも保護者にも安心な保育体制に取り組んでいる。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保護者が、小学校以降の子ども達の生活について見通しを持てる機会が設けられている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育士等と小学校教員との意見交換、合同研修を行うなど、就学に向けた小学校との連携を図っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	施設長の責任のもとに関係する職員が参画し、保育所児童保育要録を作成している。

A-1-(3) 健康管理		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
12	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 子どもの健康管理に関するマニュアルがあり、それに基づき一人ひとりの子どもの心身の健康状態を把握している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもの体調悪化・けがなどについては、保護者に伝えるとともに、事後の確認をしている。
	健康管理マニュアルに従い、毎日の登園時には保護者とコミュニケーションを取る最初に子どもの心身の健康状態の把握に努めている。園内で活動中のケガについては、主任が中心となりマニュアル通り素早く対応している。園内での体調悪化についても主任・担当で素早く体温計測した後は、マニュアル通り速やかに対応している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもの保健に関する計画を作成している。
	こどもの健康状態については、常に関係職員に情報共有と周知に努めている。保護者からは既往症、予防接種等の情報を確実に把握し記載すると共に関係職員に周知している。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 一人ひとりの子どもの健康状態に関する情報を、関係職員に周知・共有している。
	健康に関する園の方針や保護者への周知の為2~3か月毎に「保健だより」を発行し保護者全員に配布している。		<input checked="" type="checkbox"/>	オ 既往症や予防接種の状況など、保護者から子どもの健康に関わる必要な情報が常に得られるように努めている。
	乳児突然死候群(SIDS)知識については職員に周知するのを始め保護者にも周知している。		<input checked="" type="checkbox"/>	カ 保護者に対し、保育所の子どもの健康に関する方針や取組を伝えている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 職員に乳幼児突然死候群(SIDS)に関する知識を周知し、必要な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク 保護者に対し、乳幼児突然死候群(SIDS)に関する必要な情報提供をしている。
13	健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 健康診断・歯科健診の結果が記録され、関係職員に周知されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 健康診断・歯科健診の結果を保健に関する計画等に反映させ、保育が行われている。
	健康診断の結果は保護者、クラス担任に報告している。歯科健診後は歯磨きの大切さを子ども・保護者に周知している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 家庭での生活に生かされるよう保育に有効に反映されるよう、健康診断・歯科健診の結果を保護者に伝えている。
14	③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア アレルギー疾患のある子どもに対して、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」をもとに、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 慢性疾患等のある子どもに対して、医師の指示のもと、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。
	保育所におけるアレルギー対応ガイドラインを基に状況に応じた適切な対応を行っている。入園時の個別面談で細かい状況確認を行っている。現在児童5名に牛乳と卵にアレルギー症状の有る事を把握し、医師の指示に従って、保護者と確認しながら連携に努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。
	食事時には別の机で食器の色も別にして、間違ふことの無いよう配慮している。職員に周知すると共に、他の園児や保護者にはアレルギー疾患について理解するよう説明している。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 食事の提供等において、他の子どもたちの相違に配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員は、アレルギー疾患、慢性疾患等について研修等により必要は知識・情報を得たり、技術を習得している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 他の子どもや保護者にアレルギー疾患、慢性疾患等についての理解を図るための取組を行っている。
A-1-(4) 食事		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
15	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 食に関する豊かな経験ができるよう、保育の計画に位置づけ取組を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれる環境・雰囲気づくりの工夫をしている。
	食えることが嬉しい、食に関する興味や関心を持てるよう様々な方面の工夫を全職員で取り組んでいる。献立は、大津市の献立表を基本にし、園独自の行事食や誕生日会等を取り入れアレンジしている。3歳未満時の午前のおやつには、人参やさつま芋・カリフラワー等茹でた野菜を週数回提供している。苦手な野菜の味にも自然と慣れ、好き嫌いが少なくなっている。総てのクラスの食事は、給食室でお椀やお皿に個々に盛り付けされたものが運ばれている。午後のおやつにも、かぼちゃケーキや人参ケーキなど野菜をたくさん使用した手作りを多く出している。毎月保護者へは、献立表と食事だよりを配布している。食事だよりには、マナーや季節の食材・レシピなどを紹介し食育の関心を高めている。子どもの食事についてのアンケートも実施し、家庭での生活リズムや給食についての感想等保護者の声を聞く機会も作っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもの発達に合わせた食事の援助を適切に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 食器の材質や形などに配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 個人差や食欲に応じて、量を加減できるように工夫している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 食べたいもの、食べられるものが少しでも多くなるよう援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 子どもが、食について関心を深めるための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク 子どもの食生活や食育に関する取組について、家庭と連携している。
16	② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 一人ひとりの子どもの発育状況や体調等を考慮した、献立・調理の工夫をしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもの食べる量や好き嫌いなどを把握している。
	安心と安全を第一に考え、3人の調理員で日々の給食作業に取り組んでいる。手作りで薄味を基本とし、食材は食べやすい大きさになるように配慮している。毎日の検食は、輪番制で実施している。保育者は、子ども達の現状を把握しその子が食べれる分量を把握している。季節感を取り入れる献立になるよう配慮しており、夏には子ども達が育てた野菜を使用することも多い。月に一回げんキッズ(食育の会)を各クラスで実施し、担任や給食のスタッフから食材や食べ方などの話を聞く機会を設定している。玄関にある栄養ボードには、年長さんが食材の三食分けに挑戦し食べ物への関心を高めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 残食の調査記録や検食簿をまとめ、献立・調理の工夫に反映している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 季節感のある献立となるよう配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 地域の食文化や行事食などを取り入れている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 調理員・栄養士等が、食事の様子を見たり、子どもたちの話を聞いたりする機会を設けている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 衛生管理の体制を確立し、マニュアルにもとづき衛生管理が適切に行われている。

A-2 子育て支援

A-2-(1) 家庭との緊密な連携		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
17	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 連絡帳等により家庭との日常的な情報交換を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育の意図や保育内容について、保護者の理解を得る機会を設けている。
	子どもの成長は、一人ひとり異なるが、出来るだけ保護者とのコミュニケーションで報告し信頼関係を深めようと努力している。保護者と担任が会えない場合には、連絡ノートに詳細を記入し伝えている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 様々な機会を活用して、保護者と子どもの成長を共有できるよう支援をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 家庭の状況、保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録している。
A-2-(2) 保護者等の支援		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
18	① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 日々のコミュニケーションにより、保護者との信頼関係を築くよう取組を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保護者等からの相談に応じる体制がある。
	信頼関係を築き、気軽に相談出来る環境づくりに努めている(クラス担任以外の職員との関係づくりにも配慮している)。話し合い(懇談)の日時についての記録をしている。日々の送迎時の、コミュニケーションを大切に保護者と関わっている。当園には長く在籍している職員が多く、保護者との関わりも長期間にわたるものであり、信頼関係など絆が強くなっている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保護者の就労等の個々の事情に配慮して、相談に応じられるよう取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育所の特性を生かした保護者への支援を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 相談内容を適切に記録している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 相談を受けた保育士等が適切に対応できるよう、助言が受けられる体制を整えている。
19	② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 虐待等権利侵害の兆候を見逃さないように、子どもの心身の状態、家庭での養育の状況について把握に努めている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 虐待等権利侵害の可能性があると職員が感じた場合は、速やかに保育所内で情報を共有し、対応を協議する体制がある。
	施設長以下職員一人ひとりが叮嚀な目気配りは勿論子どもを取り巻く背景把握に努め、必要に応じて専門機関等、早期対応が出来る様、万全の体制を組み立てている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 虐待等権利侵害となる恐れがある場合には、予防的に保護者の精神面、生活面の援助をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員に対して、虐待等権利侵害が疑われる子どもの状態や行動などをはじめ、虐待等権利侵害に関する理解を促すための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 児童相談所等の関係機関との連携を図るための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 虐待等権利侵害を発見した場合の対応等についてマニュアルを整備している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ マニュアルにもとづく職員研修を実施している。

A-3 保育の質の向上

A-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
20	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い保育実践の改善や専門性の向上に努めている	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育士等が、記録や職員間の話し合い等を通じて、主体的に自らの保育実践の振り返り(自己評価)を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 自己評価にあたっては、子どもの活動やその結果だけでなく、子どもの心の育ち、意欲や取り組む過程に配慮している。
	現在の配置基準では、一般職員はその担当実務だけで手いっぱいとなり手を抜くわけには行かない現状である。本園も施設長・主任は頑張る職員専門性の向上に努力しているがそれを許さない現状が事実として存在している。これに手を抜くと不適切な保育に直結する危険性が出て来る。各細目も真面目に行おうと努めているが、総てを実施できないのは、記述の通りである。早急な配置基準改正を期待したい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保育士等の自己評価を、定期的に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育士等の自己評価が、互いの学び合いや意識の向上につながっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 保育士等の自己評価にもとづき、保育の改善や専門性の向上に取り組んでいる。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 保育士等の自己評価を、保育所全体の保育実践の自己評価につなげている。